

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 豊田大林教室

保護者等数(児童数) 96 回収数 割合

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	3		1	*集団用、個別用ときちんとスペースが用意されている。	仕切りや家具などを利用してスペースを区切る
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	2		2	適切だと思う	専門のスタッフも今後も採用していく
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	1		3	バリアフリーでした。	トイレなど手すりの設置
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15			2	*活動ごとにスペースが区切られており、掃除もされて清潔に保たれていると思う。	掃除はこまめに行っている
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16				*保護者のニーズも取り入れた計画を作成してもらっている。	普段から保護者様の意見などをひろいあげスタッフで検討していく
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	1		1	*ガイドラインを知らない	ホームページのご案内を行う
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	1		1	支援計画の説明があります	スタッフへ共有しやすい環境を作る
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17				*いろいろな活動ができて楽しめているようで嬉しい	教材を増やして対応
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1	6	5	*障がいのない子との交流については不明	今後コロナ等感染症を踏まえ地域圏に相談しながら検討していく予定。
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	3			契約時に説明されました	分かりやすく提示する
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14	2		1	説明の時間がありました	契約時にしっかりお話しをする
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5	5		7	親身になって対応してくれます	SNS、連絡帳を活用
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	3			*送迎時に支援員の方と話せるので、現状の把握や相談ができる。	連絡帳の内容に力を入れていく
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	2			LINEなどで相談できています	SNS、連絡帳を活用
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	9	5	*必要なので大丈夫です。	今後検討
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	1		1	*なかなかゆつくりと相談できるタイミングがない *タイミングがあればしっかり相談ののってもらえる。	SNS、連絡帳を活用
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	3			*LINE等様々な伝達手段が用意されていて良い	公式LINEを活用
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	2		4	*送ってくれる写真は様子が分かって良い	様々な場面を知ってもらうように工夫して写真を撮る
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	12	3	1	1	契約時に説明されました	鍵の管理などを徹底
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	2		10	*防犯マニュアルが把握できていません	分かりやすく提示する
	21 非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2		11	*子どもたちも参加しての避難訓練があると良いなと思います	お子様のいる時間に行えるようなプログラムを作成する
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	15	2			*いつも楽しそうに通ってくれています。 *自宅に帰ると、なにをしたか教えてくれて楽しいのが伝わり、親としてとても嬉しいので	来ることを楽しみにして頂くようまずは外観から整え、お子様に楽しんで頂く教室を作っていく
	23 事業所の支援に満足しているか	15	2			満足しています レギュラー曜日が増やせない	研修に積極的に参加し、スタッフのレベルアップを図る

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 豊田大林教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14		・人数によって部屋を分けたり調整している	仕切りや家具などを上手く配置する
	2 職員の配置数は適切であるか	12	2	利用者様の状況や活動内容に合わせて職員を配置している	・日によって職員数の差が感じられるので改善していく
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	3	視覚的にわかりやすい環境にするため不要なものは隠している	・トイレに段差があるなどバリアフリーでないところがあるため、適切な介助をする
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	13	1	・写真等を貼って、見やすいようにしている ・こまめな清掃も行える環境にすることで衛生面に気を付けている	社員研修を充実していく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	12	1	・振り返りシートの徹底やカンファレンス等での情報共有がうまくなされている	LINEをもっと活用していく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13		・現状を見てもらえるように参観日を設けて意見を聞いている	参観日を定期的に行う
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	1	評価の結果をホームページで公開している 保護者様へ共有する情報は随時公式LINEからお知らせをしている	ホームページのご案内をする
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	12		・本部との連携	本部研修などにも参加したりSVの訪問の機会に相談している
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13		・毎月パートさんも含め、職員会議をして情報共有の時間を設けている	もっと多くのスタッフに参加頂けるようにする 参加できない人にも議事録を必ず見てもらうようにする
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	13		・保護者の面談で細かな情報を得て、対応できるようにしている ・目標設定や課題の明確化ができています	しっかりとアセスメントの時間の確保、調整をする
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	2	発達調査の内容を共有していただいている	相談員さんとも連携を図る
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12		保護者様との面談を通して、課題を整理し支援内容を設定している	運営指針をしっかりと活かす
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13		・プログラムを考える際は必ず確認し、立案している ・職員間で話し合って決めている	具体的な関わり、支援方法を共有していく
適切な支援の提供	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	11	1	・職員全体で話し合っている ・プログラムについて話し合いの時間を設けている	社員が主に中心になって全員で作るようになる
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12		・月毎の計画でさまざまなプログラムを行えている	多くの意見を反映して毎回ブラッシュアップして改善していく
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	13		集団活動を中心としながら、個別での活動を適宜組み込んでいる	個別活動の内容を深めていく
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	1	朝礼を行い、確認をしている。 パートスタッフなど、時差出勤するスタッフにも都度共有している	朝礼をラインでも上げて全員が確認できる様にする
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	2	日報やLINEを用いて共有している	今後は終礼も行っていく
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	1	連絡帳や日報で記録を残している	支援の検討・改善については職員会議で行っているが、日々検討・改善ができるようにしていく
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12		6ヶ月を基本に必要なに応じて早めの見直しを行っている	今後システムで管理し漏れないようにチェックしてくれるようになる
関係機関や保護	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	9	3	基本的には児発管が参加するようにしている	多くのスタッフにも機会を持ってもらう
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	1	こども発達センターの先生や相談員さんと連携している	相談員さんを通してネットワークを今後も広げていく
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	3	現在対象児童なし	今後検討
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	3	現在対対象児童なし	今後検討
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	2	発達センターや小学校へに見学に行かせて頂いた。	外部研修も積極的に参加

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	2	相談員さんを介して行っている	外部研修も積極的に参加
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	1	・発達センターの研修等、参加している	外部研修も積極的に参加
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	6	今のところないが、今後検討して欲しい	アンケートを採り希望が多ければ検討
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	3	今後行っていきたい	アンケートを採り希望が多ければ検討
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12		連絡帳や送迎時のお話、公式LINEでのやり取りを通して情報共有している	保護者会を検討
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	5	・フィードバックやセラピーノートを介して行っている	保護者様のニーズを聞きながら、今後検討していく
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12		契約時必ず行っている	全スタッフが説明できるように今後指導していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	1	必ず説明をしている	重説や契約書の中に盛り込まれているので、必ず説明をする
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13		参観日を実施した	もっと定期的に参観日を実施する
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	7	保護者参観日を設け、数家族ごとに利用者様を見ていただく機会をつくった	もっと定期的に参観日を実施する
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13		利用者様から相談があった場合、別室で聞き取りをしている	いつでも迅速に動けるようにスタッフを増員取りをしている
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	2	・メール、LINEを通じて都度発信している	ホームページを検討
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	13		鍵付きの書類棚に保管している	鍵の管理も徹底
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13		研修等により	しっかり特性について理解し、共有する
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	8	今のところないが今後検討	今後検討
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	1	・半年に1度避難訓練を実施している	作成しているが、保護者様への共有が不十分な部分があるので改善していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11		・半年に1度実施している	消防署の方に来てもらうことも検討
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12		契約時の聞き取りとあわせて、都度情報を確認できるよう提示している	今後システムを用いて全スタッフで共有出来る環境になる
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	2	保護者様から、医師の指示を聞きとり対応を提示している	今後システムを用いて全スタッフで共有出来る環境になる
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	1	送迎時に関するヒヤリハットもドライバー間で共有できている	職員会議時にまとめたものも発表する
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13		研修を通して虐待について学ぶ機会を作り、感想を共有している	職員会議等で頻繁に行う
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12	1	保護者面談の際に安全を守る行動についてお伝えしている	基本的には身体拘束を行わないと言うことを周知徹底。